

Kumamoto City

Kumamoto City

熊本市 I R 資料



山陽・九州新幹線「N700系」



加藤清正公像



熊本の特産品「馬刺し」



熊本城とイチョウ(熊本市木)



熊本市電(超低床電車)



城下町大にぎわい市

目次

I. 熊本市のプロフィール	1		
■ 熊本市の概要	3	■ 健全化判断比率の状況	27
■ 熊本市の特色	4	■ 市債発行額・公債費の状況（普通会計）	28
■ 熊本市の産業	5	■ 市債残高・プライマリーバランスの状況（普通会計）	29
■ 九州新幹線鹿児島ルート全線開業	6	■ 基金の状況	30
II. 熊本市の市政運営	7	■ 特別会計の状況（平成23年度決算）	31
■ 挑戦元年アクションプラン	9	■ 公営企業会計の状況（平成23年度決算）	32
■ くまもとの再デザイン		■ 外郭団体の状況（平成23年度決算）	33
市役所の再デザイン	10	■ 財政の中期見通し	34
交通体系の再デザイン	11	■ 平成24年度起債計画	35
中心市街地の再デザイン	12		
■ もっと暮らしやすさを実感できるまちの実現			
もっと暮らしやすさを実感できるまちの実現	13		
■ 選ばれる都市くまもとの実現			
観光地	14		
企業の立地・進出地	15		
東アジア戦略	16		
■ 行財政改革の取り組み	17		
III. 熊本市の財政状況	19		
■ 財政規模（平成24年度当初予算）	21		
■ 予算の状況（平成24年度一般会計当初予算 歳入）	22		
■ 予算の状況（平成24年度一般会計当初予算 歳出）	23		
■ 決算の状況（普通会計 歳入）	24		
■ 決算の状況（普通会計 歳出）	25		
■ 主な財政指標の状況（平成23年度決算）	26		

お問い合わせ先



～政令指定都市移行記念～
第1回熊本城マラソン（H24.2.19）



KUMAMOTO WATER LIFE

熊本市のプロフィール

日本一の地下水都市



I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の概要

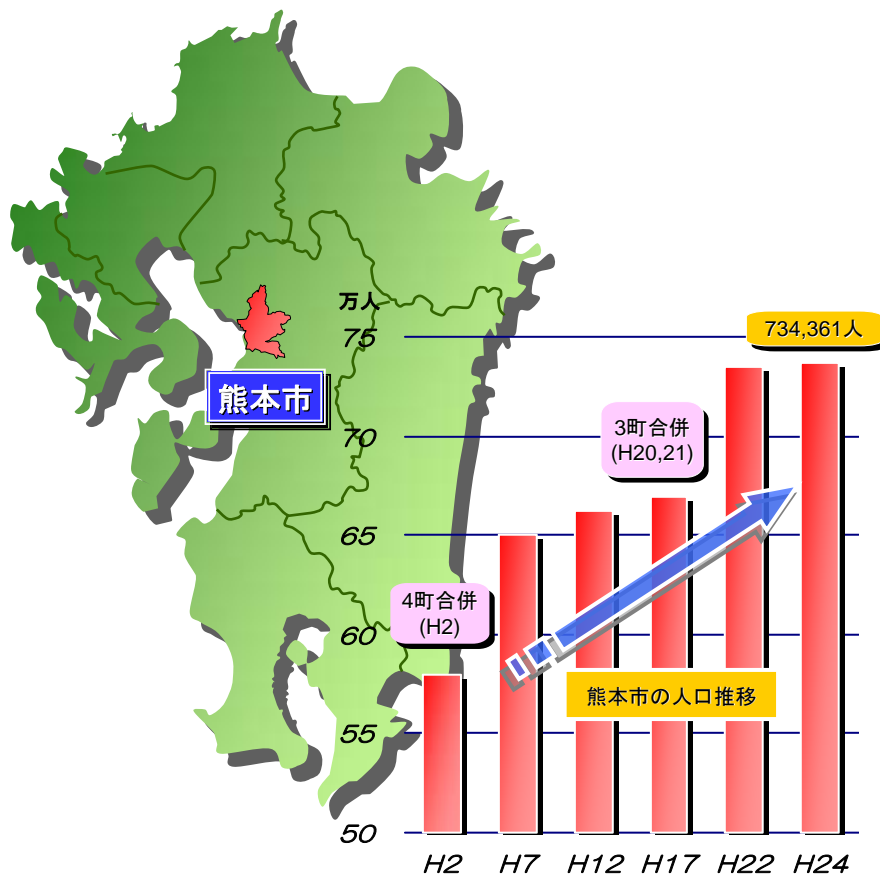
- ◆ 平成24年4月1日、全国で20番目、九州で3番目の指定都市へと移行
- ◆ 優れた都市環境と豊かな自然環境を併せ持つ魅力ある都市

熊本市の基礎データ (H24.4.1)

- 人口 734,361人
(指定都市20市中17位)
- 面積 389.54平方キロメートル
(同12位)
- 人口密度 1885.2人/km²
(同12位)
- 世帯数 306,170世帯
(同17位)

熊本市の沿革

明治22年4月	市町村制が施行され、熊本市が誕生
昭和47年10月	「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開
昭和51年3月	「地下水保全都市」を宣言
昭和52年5月	人口が50万人を突破
平成元年4月	市制施行100周年
平成3年2月	飽託郡4町(北部、河内、飽田、天明)と合併 人口が60万人を突破
平成8年4月	中核市へ移行
平成19年1月	熊本城築城400年祭が始まる
平成20年10月	下益城郡富合町と合併 人口が67万9千人となる
平成21年4月	市制施行120周年
平成22年3月	下益城郡城南町、鹿本郡植木町と合併 人口が73万人となる
平成23年3月	九州新幹線全線開業
平成24年4月	政令指定都市へ移行



西日本最大級の全天候型アーケード(中央区)



希少動植物の宝庫であり、「水の都熊本市」を実感できる江津湖(東区)



子ども連れでも楽しめる、身近な自然が多く残る立田山(北区)



I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の特色

- ◆ 九州の中央に位置し、地理的優位性あり（九州各主要都市まで約150分圏内）
- ◆ 九州の行政の中心として発展し、国の出先機関の立地多数、大学・医療機関が高集積
- ◆ 人口73万人を有しながら、上水道水源100%を天然地下水でまかなう日本一の地下水都市

熊本市内の国の出先機関等

- 九州総合通信局
- 九州農政局
- 九州財務局
- 九州森林管理局
- 九州地方環境事務所
- 陸上自衛隊西部方面総監部



熊本合同庁舎A棟

教育環境の充実

- 毎年24,000人あまりの人材を輩出する学園都市（10大学、3短期大学、1高専、35高等学校、54専修学校）
- 理工系の学部・学科が充実しており、IT・バイオ技術等、多分野において豊富な人材

- 人口1万人当たり大学入学定員 82.3人
（指定都市20市中6位）



日本一の地下水都市

- 熊本市民の水道水源は100%地下水（蛇口をひねれば天然ミネラルウォーター）
- 食品・半導体関連企業にとって重要な資源が豊富

- 地下水の取水割合 100.0%
（指定都市20市中1位）

日本一
（地下水）



熊本オフィシャルウォーター
「熊本水物語」

医療環境の充実

- 医療機関が高集積、医師数・救急隊数の充実
- 指定都市で唯一内科・外科・小児科の24時間診療体制を確立

- 人口10万人当たり医師数 400.7人
（指定都市20市中2位）



I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の産業

- ◆ 清冽で豊富な地下水と大地が育む豊かな農業
- ◆ 熊本都市圏は、自動車関連企業や電気機器・半導体関連企業が数多く立地する一大集積地

豊かな農水産物

- 農業産出額は、(指定都市20市中3位)
- なす・すいかは、全国1位の産出額
- みかん・メロンの全国有数の産地
- 水揚げ量日本一の天然ハマグリブランド化



肥後ハマグリ弁当
日本一(ハマグリ)



植木すいか
日本一(すいか)



なす
日本一(なす)

産業別就業者比率

- ・第1次産業 3.87%
(指定都市20市中2位)
- ・第2次産業 16.81%
(同17位)
- ・第3次産業 79.32%
(同5位)

熊本都市圏の主な立地企業

- ①熊本市
- ▲南九州コカ・コーラボトリング
 - ▲ヤクルト
 - ルネサスセミコンダクタ九州・山口
 - タチバナ化成
 - ★アイシン九州
 - ★アイシン九州キャスティング
 - ★平田機工
 - 化学及び血清療法研究所
 - トランスジェニック
 - リパテープ製薬
 - エコポート九州
 - ◎JTBグローバルアシスタンス
 - ◎ソフトバンクBB/BBコール
 - ◎TMJ
 - ◎トライアンプ
 - ◎トランス・コスモス
 - ◎日本トータルテレマーケティング
 - ◎ミスミ

- ②宇土市
- 三和化学研究所
 - ◎日本合成化学工業
 - ◎大阪製鐵

- ③宇城市
- ▲山崎製パン
 - 九州電子
 - 中央電子工業
 - 理化電子

- ④合志市
- 東京エレクトロン九州
 - 三菱電機
 - ★旭精機
 - ★合志技研工業
 - ◎日本たばこ産業

- ▲食品関連
- 半導体関連
- ★輸送用機械関連
- 医療製品関連
- 環境関連
- ◎その他
- ※企業名は50音順

- ⑤菊陽町
- ソニーセミコンダクタ九州
 - 富士フイルム九州

- ⑥大津町
- テラデザイン
 - 東京エレクトロン九州
 - HOYA
 - 三井ハイテック
 - ルネサス九州セミコンダクタ
 - ★富士精工
 - ★本田技研工業
 - ホンダソルテック

- ⑦益城町
- 富士通熊本システムラボラトリ
 - ルネサスマイクロシステム
 - ★井関熊本製造所
 - 再春館製薬所

- ⑧嘉島町
- ▲サントリー九州



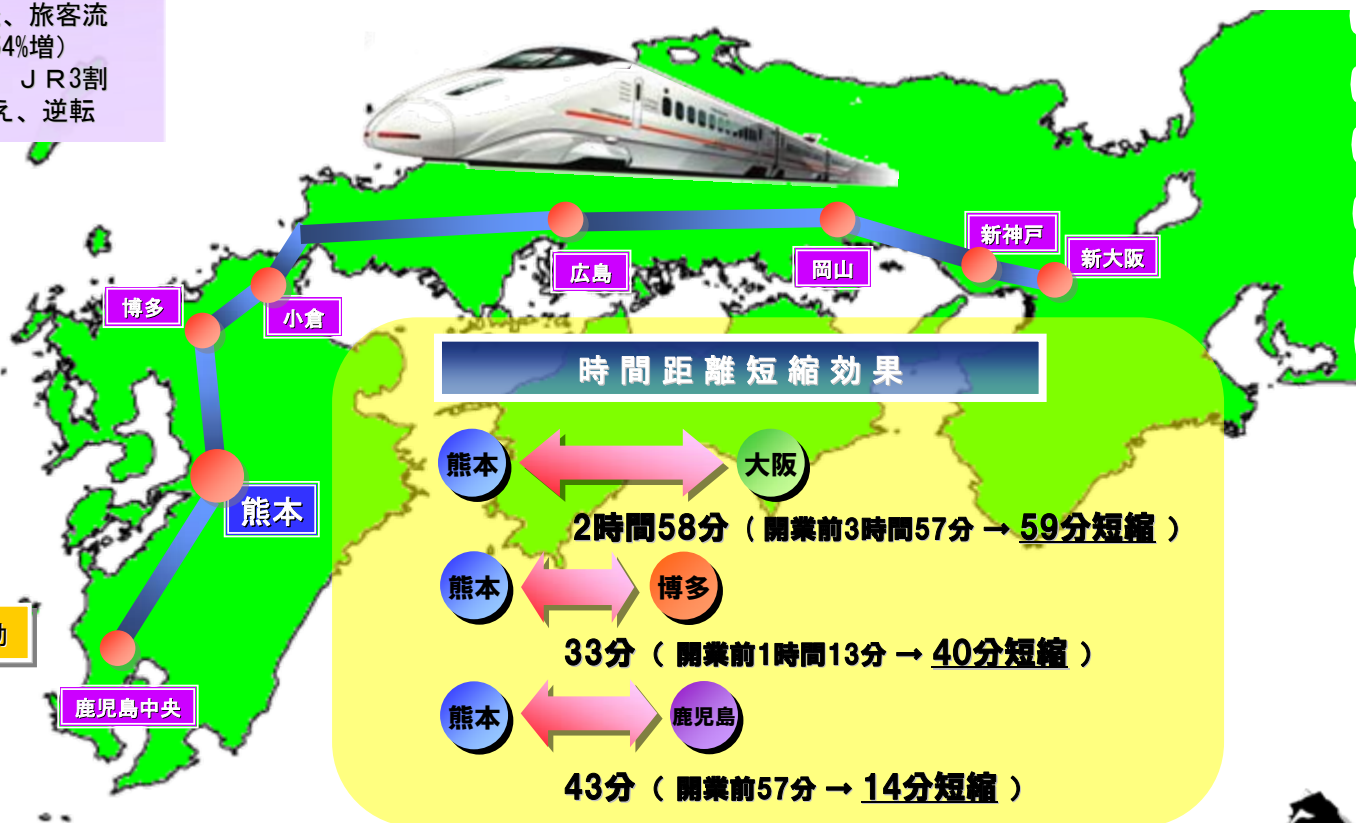
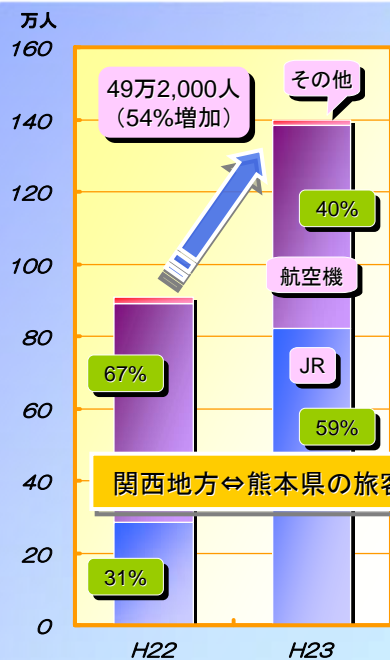
I. 熊本市のプロフィール

■ 九州新幹線鹿児島ルート全線開業

- ◆ 平成23年3月に、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業し、熊本を訪れる観光客が大幅に増加
(関西・広島・岡山・四国からの観光客が大幅増加)
- ◆ 開業後1年間の熊本県内の経済波及効果は、約195億円

九州新幹線全線開業効果(鹿児島ルート)

- 九州新幹線鹿児島ルート全線開業後、旅客流動は、49万2,000人増加(前年度比54%増)
- 開業前の交通手段は、航空機約7割、JR3割
⇒開業後は、JRが6割近くまで増え、逆転





熊本市の市政運営



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 挑戦元年アクションプラン

- ◆ 「市役所・交通体系・中心市街地の再デザイン」、「もっと暮らしやすさを実感できるまち」、「選ばれる都市くまもと」を柱とした130項目の迅速かつ着実な公約実現に向け、平成23年2月策定

挑戦元年アクションプラン

I. くまもとの再デザインに取り組みます

1. 市役所の再デザイン

2. 交通体系の再デザイン

3. 中心市街地の再デザイン

Ⅱ. もっと暮らしやすさを実感できるまちを実現します

Ⅲ. 選ばれる都市くまもとを実現します



政令指定都市
移行閣議決定



東区役所

Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ くまもとの再デザイン(市役所の再デザイン)

- ◆ 指定都市移行を機に、全国さらには東アジアに向け、熊本の都市ブランドを強く情報発信
- ◆ これまでの行財政改革の取組みを引き続き進めるとともに、経営感覚に富んだ行財政運営への取組み

事務事業外部評価会議

① 政令指定都市くまもとの実現

- 都市ブランドの情報発信
- 地域主権における大都市制度の確立

② 区役所を最大限に活用

- 区ごとの振興ビジョン策定

③ 意思決定等をスピードアップ

- 組織のフラット化

④ 都市戦略力の向上

- 上海事務所の設置
- 東京事務所の強化

⑤ さらなる行財政改革

- 総人件費の抑制
- 事業仕分け導入
- IR・市場公募債の発行・公債管理の徹底

⑥ 情報共有・市民参画の推進

- 2,000人市民委員会の設置
- 公的オンブズマンの設置

⑦ 信頼される市役所の実現

- コンプライアンス担当監の設置
- 大学等と連携した職員の資質向上
(シンクタンク設置)



2000人市民委員会
(委員となった市民の皆様から市政の様々な重要政策課題についてご意見・ご提言をいただく)

Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ くまもとの再デザイン(交通体系の再デザイン)

- ◆ 参画と協働で築く公共交通を基軸とした多核連携のまちづくりを目指し、本年、「熊本市公共交通グランドデザイン」策定
- ◆ 平成27～28年度に北熊本スマートIC、城南スマートICの供用開始予定、高速交通体系へのアクセス充実

① 誰もが利用できる公共交通網の整備

- 鉄軌道を軸とした公共交通体系の整備
- 区バス等の運行・バス網の再編
- ICカードの導入
- バリアフリー化等による市電の利便性向上
- 近見新駅(仮称)の実現

② 高速交通体系へのアクセスの充実

- 熊本駅の乗り換え利便性の向上
- 植木・北バイパス、熊本西環状道路の整備
- スマートインターチェンジの設置
- 高速道路利用料金軽減策の検討

③ 環境負荷の小さい交通体系の実現

- 市電の利用促進
- 公用車のカーシェアリングの導入

基幹公共交通の強化 (鉄道・市電・幹線バス)

- 中心市街地と15の地域拠点をつなぐ8軸(基幹公共交通軸)の輸送力、到達性、定時性強化

超低床電車



公共交通空白・不便地域への対応

- 地域と協働で「コミュニティ交通」導入



乗合タクシー

日常生活を支えるバス路線網の再編

- 基幹公共交通を補うバス路線網を再編
- わかりやすく効率的な運行体制を確立



バス専用レーン(国道3号)

Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ くまもとの再デザイン(中心市街地の再デザイン)

- ◆ 熊本駅～熊本城～アーケード街への連続性のあるまちづくりへの取組み
- ◆ 「人が主役のシンボルプロムナード」を基軸にした土地利用や、景観、空間を再デザイン

熊本駅前再開発事業

- 平成23年10月に、「くまもと森都心プラザ」オープン
ビジネス支援センター
観光・郷土情報センター
図書館、ホール等

くまもと森都心



熊本駅～熊本城～アーケード街
【連続性のあるまちづくり】



桜の馬場 城彩苑

アーケード街

熊本駅

レンタサイクル



桜町・花畑周辺地区のまちづくり

- 国際水準の3,000人収容のMICE施設整備
- シンボルプロムナードと周辺の諸機能の連携による回遊性の向上



シンボルプロムナード(イメージ)



町屋を中心とした歴史的景観

町屋を中心とした歴史的景観の形成

- 地域住民と協働で町並みのルールづくりや町屋を保存活用
- 城下町の風情を感じられる町並みづくりを推進

Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ もっと暮らしやすさを実感できるまちの実現

◆ 安心安全で子育てしやすく、活力に満ちた働く場があふれる、「もっと暮らしやすさを実感できるまち」の実現

もっと暮らしやすさを実感できるまちの実現

- ① 安全安心なまちの実現
- ② 子育てしやすいまちづくり
- ③ 子どもの成長を見守るまちづくり
- ④ 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- ⑤ 障がいのある方が生きがいを持てる生活環境づくり
- ⑥ 誰もが健康で暮らせるまちづくり
- ⑦ 人材を育てる教育環境の実現
- ⑧ 市民協働のまちづくり
- ⑨ 持続的に発展する農水産業の振興
- ⑩ 働く場があふれるまちづくり
- ⑪ 低炭素都市づくり
- ⑫ 身近にスポーツを楽しめるまちづくり
- ⑬ 文化力の高いまちづくり



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 選ばれる都市くまもとの実現(観光地)

- ◆ 平成23年3月に、歴史文化体験施設や飲食物販施設を備えた複合施設、「桜の馬場 城彩苑」がオープン
- ◆ 「桜の馬場 城彩苑」への観光客数は、開業後1年間で、140万8千人を突破

観光資源の情報発信・プロモーション

- 熊本は、風情のある町並み、豊かな食の恵み、温泉等の観光資源が豊富
- 各種媒体を利用した情報発信や、各都市でのプロモーション等を行い、観光資源を活用

桜の馬場 城彩苑



滑らかな泉質が特徴の「植木温泉」



熊本の特産品(太平燕(タイビーエン)、熊本ラーメン、馬刺し、からし蓮根)



マンガ・アニメを生かしたまちづくり

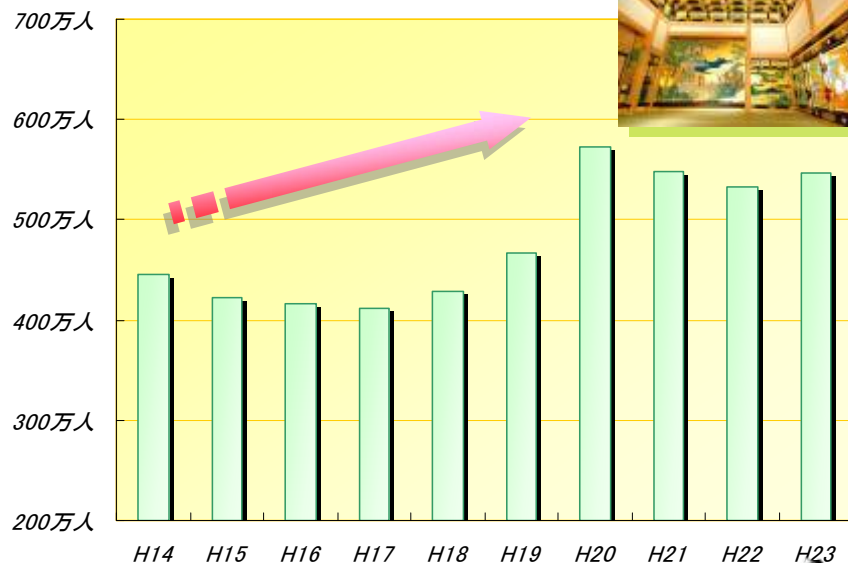
本市最大の観光地、熊本城の魅力向上

- 熊本城の入園者数は10年前と比較して、大幅に増加
- 熊本城のエントランスにあたる地区に、「桜の馬場 城彩苑」を整備
- 周辺地域への回遊性促進、中心市街地の活性化並びに本市の魅力向上

熊本城本丸御殿大広間復元(H20)



熊本市の観光客数推移



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 選ばれる都市くまもとの実現(企業の立地・進出先)

- ◆ 指定都市移行後、企業立地が過去最多！
- ◆ 指定都市トップレベルの充実した企業立地補助金（平成24年度より、補助金限度額を 20億円⇒30億円に拡充）

企業から選ばれる都市

- 熊本市には、企業立地で重要となる優れた資源が豊富

① 優れたビジネス環境

- ・ 企業の一大集積地
- ・ 少ない自然災害リスク
- ・ 高いコストパフォーマンス

② 優れた人材・生活環境

- ・ 数多くの工科系人材・教育機関
- ・ 豊富な地下水・農水産物
- ・ 自然環境と調和したまち

③ 充実した企業立地支援体制

- ・ 企業立地推進体制の強化
- ・ 工業団地の整備
- ・ 充実した企業立地補助制度
- ・ 立地企業のフォローアップ

ビジネス支援センター
(くまもと森都心プラザ内)



くまもと大学連携インキュベータ



充実した企業立地補助制度

- 工場・コールセンター・データセンター等の立地に対し、最大30億円を補助
- 市中心部への支社・支店、営業所等のオフィス立地に対し、最大1千万円を補助



今藤工業団地

～熊本市、企業立地過去最多！～

- 指定都市移行後の6ヵ月間（9月末現在）で、熊本市への企業立地は過去最多の11件（新設4件・増設6件・移設1件）
(要因)
- ・ 指定都市移行による九州の拠点都市としての認知度の向上効果
- ・ 地震等のリスクの少なさ等のビジネス環境・交通の利便性、生活環境や補助金制度等への評価

Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 選ばれる都市くまもとの実現(東アジア戦略)

- ◆ 観光客・留学生の誘致に向けたプロモーション等、本市の魅力発信を強化・充実
- ◆ 上海・香港・桂林・台北・釜山・ソウル・蔚山市等をターゲットとした東アジア戦略を展開

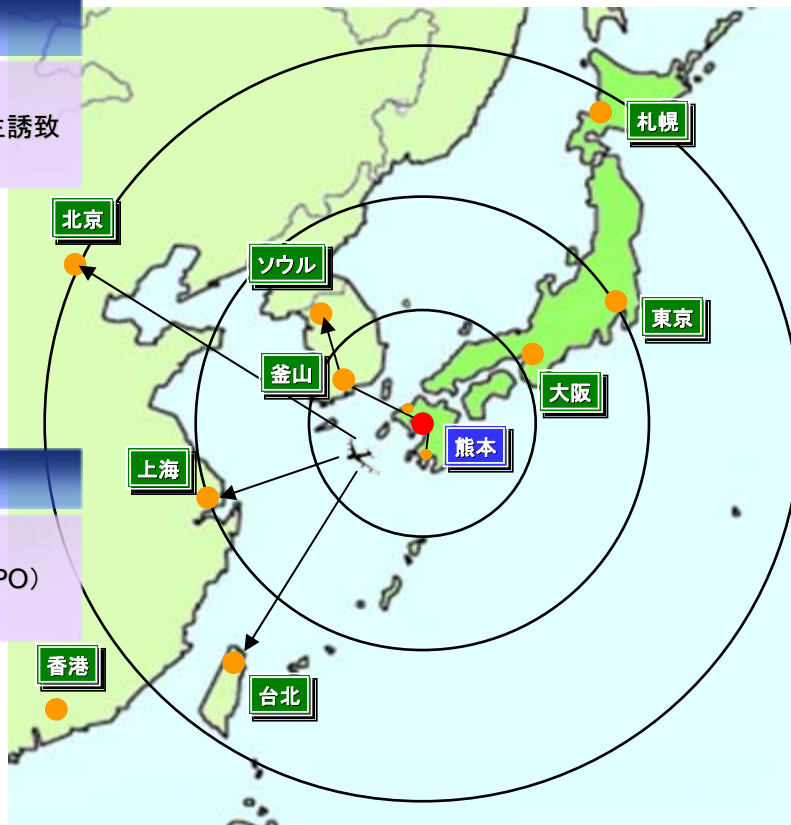
上海事務所開設

- 平成24年1月11日
- 観光客誘致・ビジネス支援・留学生誘致
- 熊本県・熊本大学と共同開設



国際食品見本市(香港)

- 平成19年度から継続して実施
- 香港国際食品見本市(FOOD EXPO)への出展



N
4

友好協力都市(韓国蔚山広域市)

- 平成22年4月26日
- 韓国蔚山広域市と友好協力都市協定を締結



熊本フェア(シンガポール)

- 平成23年1月19日～22日
- 地元企業の海外進出や販路開拓・拡大
- 観光客の誘客



Ⅱ. 熊本市の市政運営

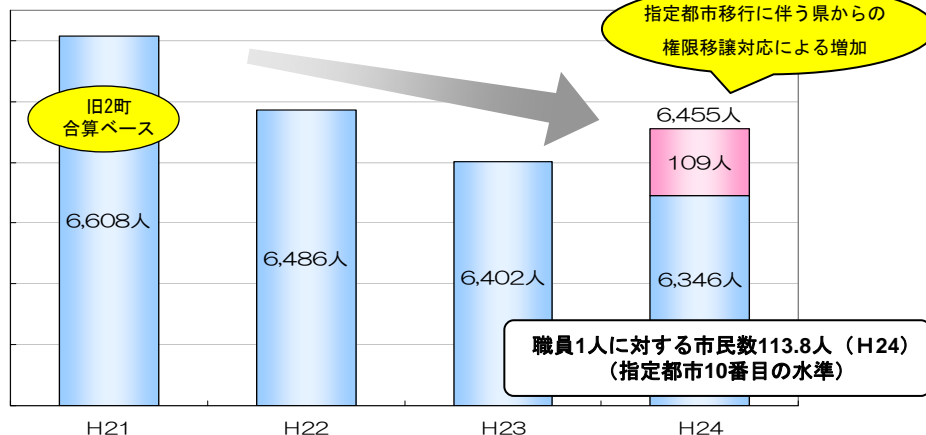
■ 行財政改革の取組み

- ◆ 第1次から第3次の行財政改革の取組みにより、400億円を超える財政効果を実現
- ◆ 現在、第4次行財政改革計画（平成21～25年度）を強力に推進

これまでの行財政改革の取組み（平成8年度～）

		第1次 行財政改革大綱	第2次 行財政改革大綱	第3次 行財政改革推進計画
実施期間		平成8～11年度	平成12～15年度	平成16～20年度
職員数	目標	職員1人あたり 市民100人	6,500人	6,124人
	成果	職員1人あたり 市民101.2人	6,364人	6,119人
効果額	目標	50億円	30億円	275億円
	成果	49億円	53億円	332億円

<職員数の推移>



※県からの権限移譲に伴う人員増の影響（109人）を除くと56人の減

第4次行財政改革計画（平成21～25年度）

【主な取組み】

● 市民に信頼される市政の実現

- ・市民参画と協働の推進
自治基本条例の制定（H21）
- ・市民の視点に立ったサービスの提供
民間提案によるサービスの見直し（H24～）

● 効率的で質の高い市政運営

- ・人件費の抑制
職員定員、給与制度の適正化（H21～）
- ・民間活力の活用
文化ホール等施設の指定管理者制度の導入（H21～H24：12施設）
ごみ収集・土木センター・学校給食業務等の民間委託（H21～）
PFI方式等の活用（H22 桜の馬場 城彩苑）
- ・受益者負担の見直し
市営駐輪場、動植物園駐車場の有料化（H24）
- ・税収等の確保
市税収納率の向上（H21 91.1% ⇒ H23 91.9%）
- ・新たな歳入の確保
ネーミングライツ制度の導入（H20 市民会館崇城大学ホール）



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 行財政改革の取組み

民営化・民間委託の実施

- 市営バス全路線を、民間事業者へ段階的に移譲（～平成27年度）

移譲の受け皿として、民間バス3社の共同出資による「熊本都市バス株式会社」を設立



熊本都市バス車両

- 3市立保育所の民営化
- 約400施設の管理を民間事業者（指定管理者）に委託
・平成24年4月、新たに「水前寺江津湖公園」等、8施設に導入
- ごみ収集、学校給食業務の民間委託

受益者負担の見直し

- 平成24年6月、中心市街地の市営駐輪場有料化

民営事業者の参入促進
（駐輪場整備費の助成財源を確保）



市営上通自転車駐車場

新たに11か所、約3,000台分の民営駐輪場を整備

- 平成24年4月、動植物園の駐車場有料化
・駐車場維持管理経費の利用者負担、公共交通機関の利用促進

組織改編・フラット化

- 平成23年4月、「観光文化交流局」、「農水商工局」を創設
・観光振興・農商工連携等の重点施策を強力に推進

都市戦略力の向上

- 平成24年4月、「部」を廃止し、組織をフラット化
・「局→部→課」の3層構造から「局→課」の2層構造に

意思決定や政策実行をスピードアップ

熊本市都市政策研究所の設置

- 平成24年10月、自治体シンクタンク「熊本市都市政策研究所」を開設

<組織体制（平成24年度）>

所長 藪茂 壽太郎
（前熊本県立大学理事長）

副所長 企画課長

研究員等 各局職員31名

3つの機能に基づく活動

調査・政策研究機能
情報収集・発信機能
人材育成機能

IPRK 熊本市都市政策研究所
Institute of Policy Research, Kumamoto City



熊本市の財政状況



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 財政規模（平成24年度当初予算）

- ◆ 全会計合計 5,561億円（対前年比5.9%、311億円の増）
- ◆ 一般会計当初予算は2,759億円で、20指定都市中17番目の財政規模

平成24年度当初予算の状況

一般会計 **2,759億円**

特別会計 **1,982億円**

（国民健康保険事業会計、介護保険事業会計等 全16会計）

企業会計 **820億円**

（水道事業会計、病院事業会計、交通事業会計等 全5会計）

合計 **5,561億円**

（単位：億円、%）

	平成24年度	平成23年度	前年比較	
			増減	伸率
一般会計	2,759	2,704	55	2.0
特別会計	1,982	1,721	261	15.2
企業会計	820	825	▲5	▲0.5
合計	5,561	5,250	311	5.9

財政規模の指定都市比較（平成24年度一般会計当初予算）

（単位：億円）

1	大阪市	15,163
2	横浜市	14,097
3	名古屋市	10,288
4	札幌市	8,522
5	福岡市	7,662
6	京都市	7,381
7	神戸市	7,344
8	川崎市	5,956
9	広島市	5,886
10	仙台市	5,787
11	北九州市	5,523
12	さいたま市	4,309
13	千葉市	3,658
14	新潟市	3,573
15	堺市	3,510
16	静岡市	2,786
17	熊本市	2,759
18	浜松市	2,692
19	岡山市	2,553
20	相模原市	2,483

指定都市中
17番目の財政規模

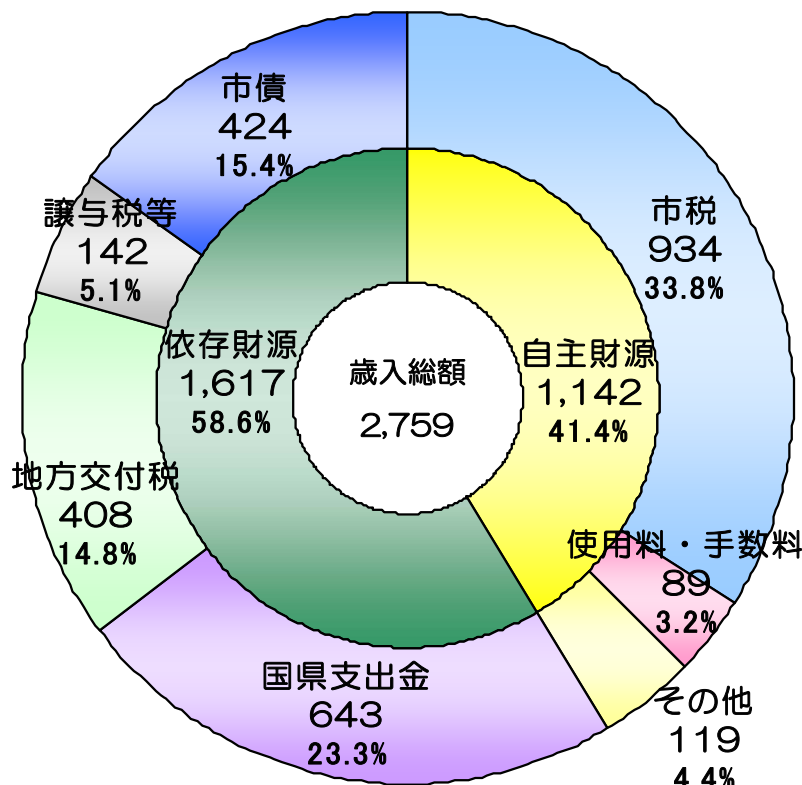


Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 予算の状況(平成24年度一般会計当初予算 歳入)

一般会計当初予算(歳入)

(単位：億円)



(単位：億円、%)

	平成24年度		平成23年度		前年比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	伸率
市税	934	33.8	945	34.9	▲ 11	▲ 1.2
使用料・手数料	89	3.2	88	3.2	1	2.2
その他	119	4.4	173	6.5	▲ 54	▲ 31.4
自主財源	1,142	41.4	1,206	44.6	▲ 64	▲ 5.3
国県支出金	643	23.3	623	23.1	20	3.1
地方交付税	408	14.8	424	15.7	▲ 16	▲ 3.7
譲与税等	142	5.1	113	4.1	29	25.3
市債	424	15.4	338	12.5	86	25.5
依存財源	1,617	58.6	1,498	55.4	119	7.9
合計	2,759	-	2,704	-	55	2.0

- 歳入総額は、2,759億円で過去最大
対前年度比+2.0%、55億円の増
- 地方交付税及び臨時財政対策債の伸びのほか、
政令指定都市移行に伴い、譲与税等（軽油引取税交付金）
及び宝くじ収入等、新たな財源を確保
- 自主財源と依存財源の割合は、4：6で依存財源が高い



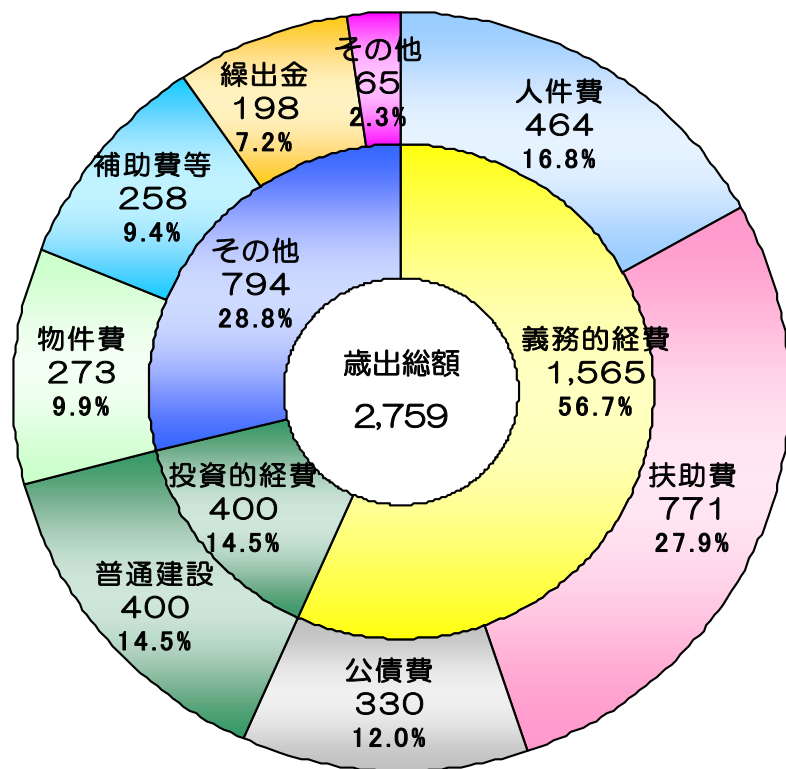
Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 予算の状況(平成24年度一般会計当初予算 歳出)

一般会計当初予算(歳出)

(単位：億円、%)

(単位：億円)



	平成24年度		平成23年度		前年比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	伸率
人件費	464	16.8	478	17.7	▲ 14	▲ 2.9
扶助費	771	27.9	749	27.7	22	3.0
公債費	330	12.0	333	12.3	▲ 3	▲ 1.0
義務的経費	1,565	56.7	1,560	57.7	5	0.3
投資的経費	400	14.5	366	13.6	34	9.2
その他	794	28.8	778	28.7	16	2.0
合計	2,759	-	2,704	-	55	2.0

- 歳出総額は、2,759億円
- 政令指定都市移行に伴う権限移譲事務・事業経費(171億円)による増
- 扶助費は、771億円(対前年比+3.0%、22億円増)
義務的経費が約6割を占める歳出構造
- 投資的経費は、400億円(対前年比+9.2%、34億円増)
政令指定都市移行に伴い、国・県道事業を新規計上

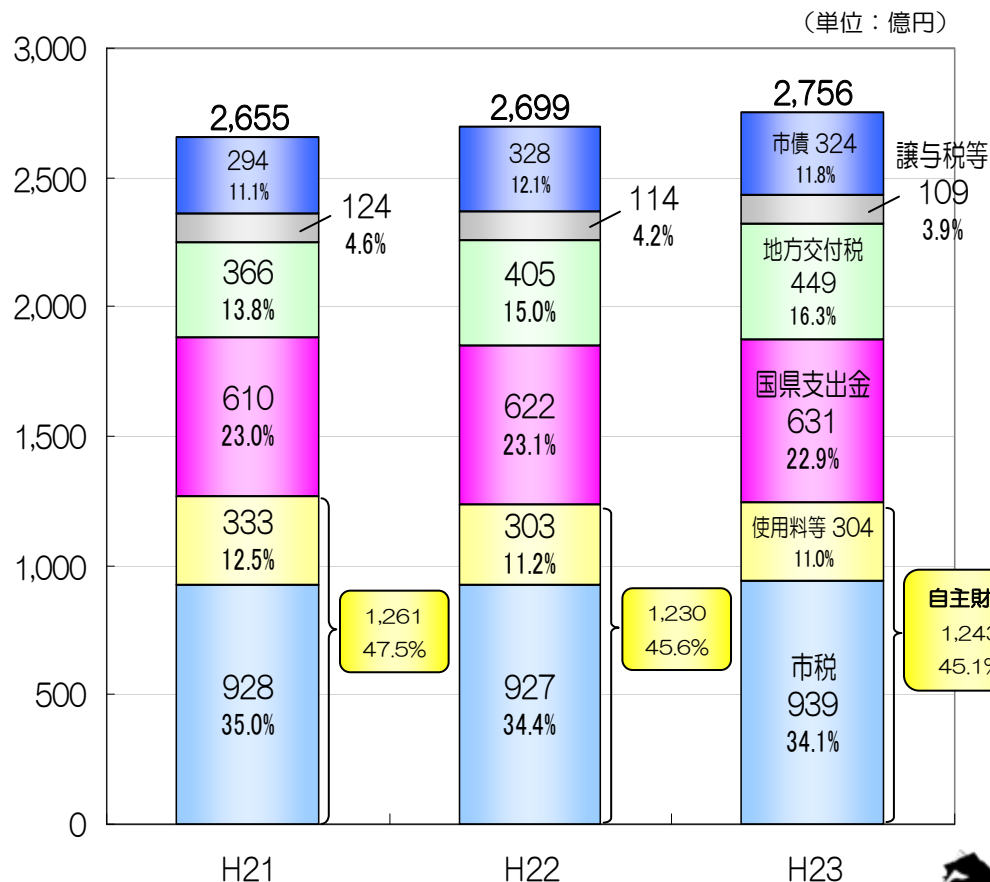
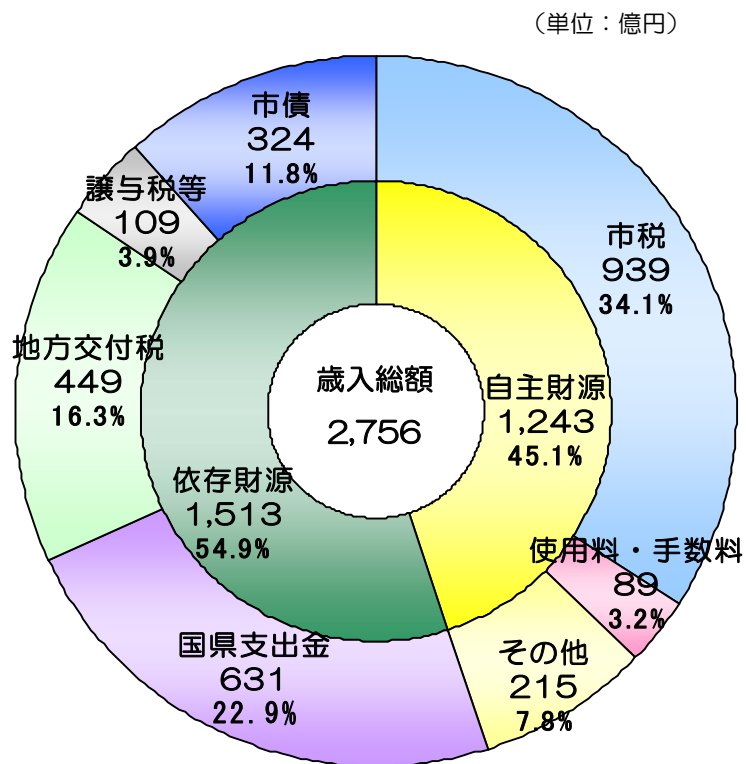


Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 決算の状況(普通会計 歳入)

- ◆ 平成23年度歳入決算総額は2,756億円で、前年度比2.1%、57億円の増
- ◆ 市税の決算は939億円で、前年度比1.2%、12億円の増、全体に占める割合は34.1%

平成23年度 普通会計決算(歳入)



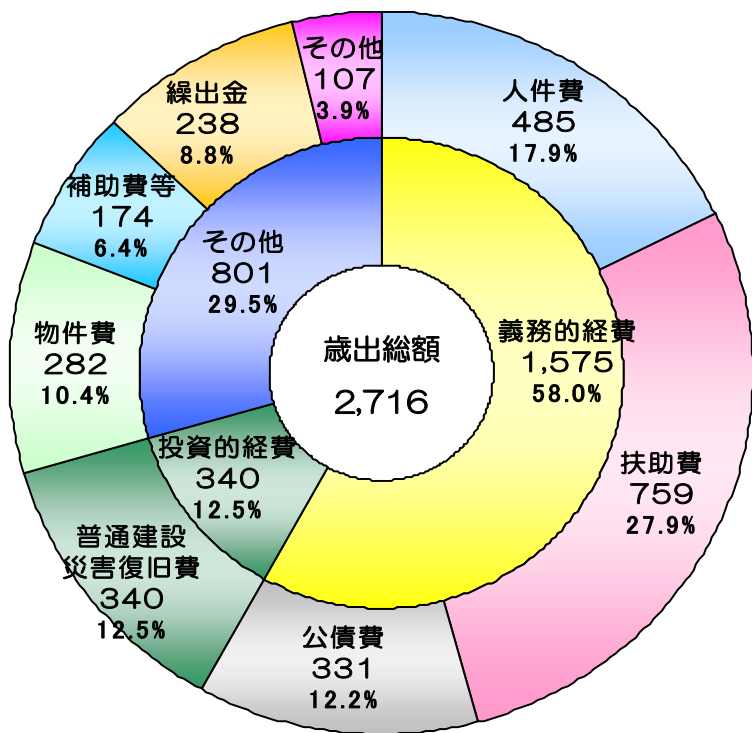
Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 決算の状況(普通会計 歳出)

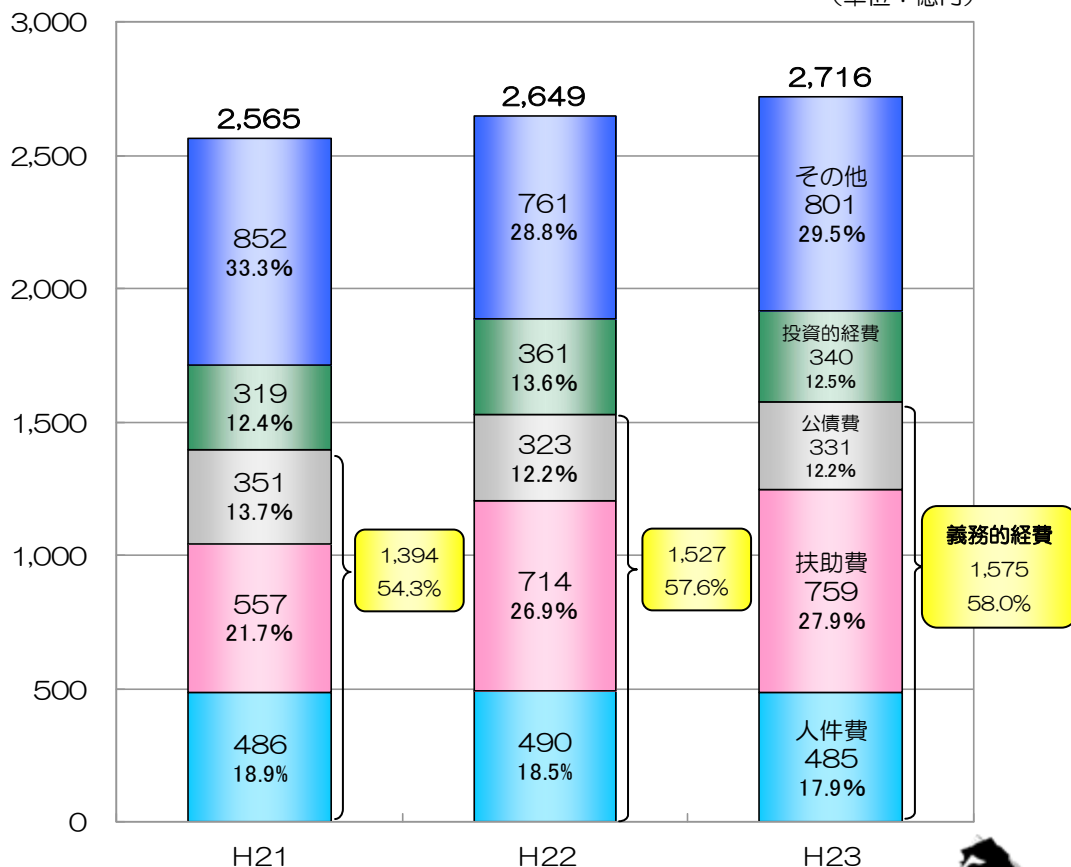
- ◆ 平成23年度歳出決算総額は2,716億円で、前年度比2.5%、67億円の増
- ◆ 義務的経費の決算は1,575億円で、前年度比3.1%、48億円の増、全体に占める割合は58.0%

平成23年度 普通会計決算(歳出)

(単位：億円)

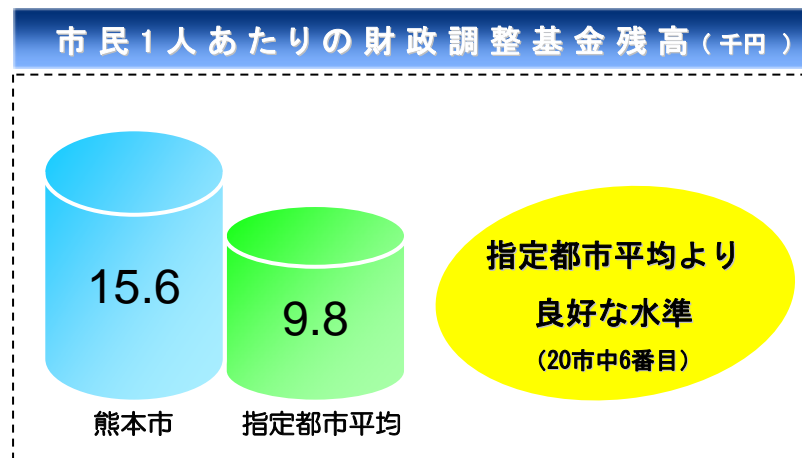
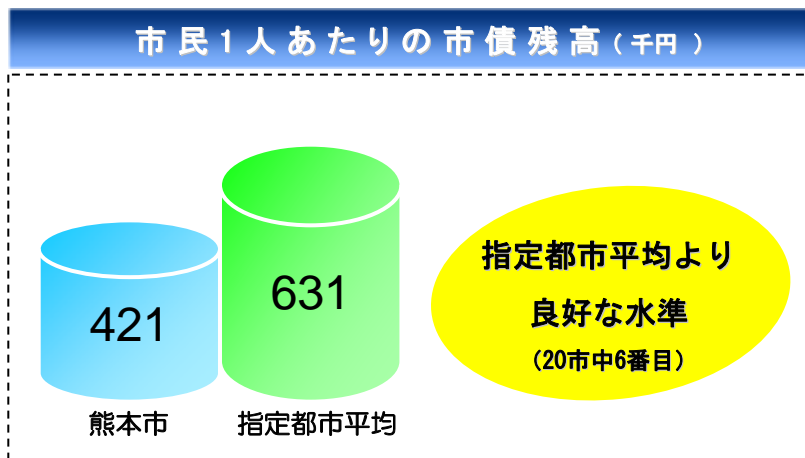
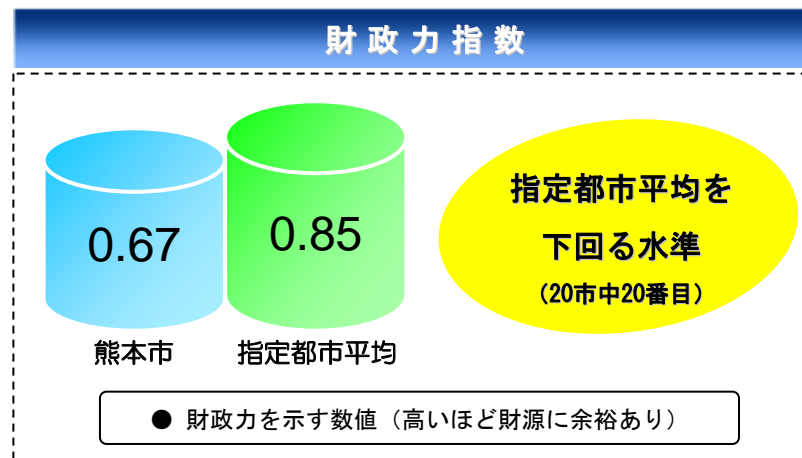
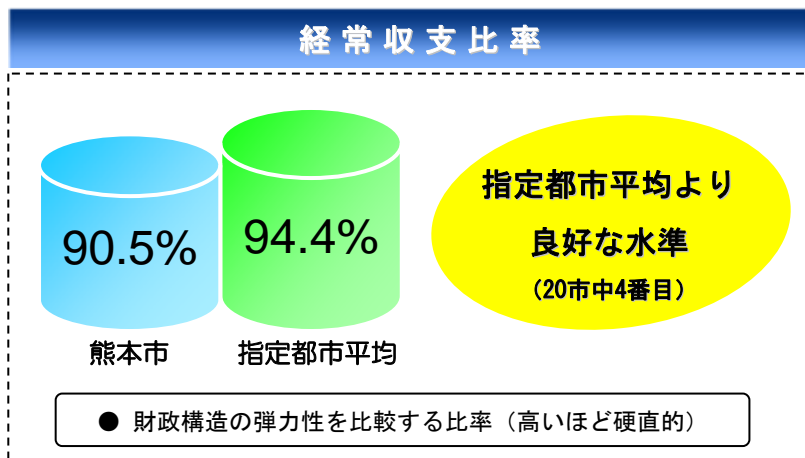


(単位：億円)



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 主な財政指標の状況 (平成23年度決算)



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 健全化判断比率の状況

- ◆ 早期健全化基準に該当する指標はなく、健全な財政状況
- ◆ 指定都市と比較においても、良好な水準

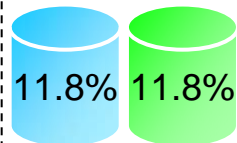
健全化判断比率の推移

	H21	H22	H23	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	11.25%
連結実質赤字比率	—	—	—	16.25%
実質公債費比率	13.0%	12.2%	11.8%	25%
将来負担比率	140.5%	135.7%	125.3%	350%

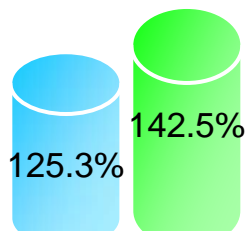
健全化判断比率の指定都市比較 (H23決算)

● 実質公債費比率

● 将来負担比率



熊本市 指定都市平均

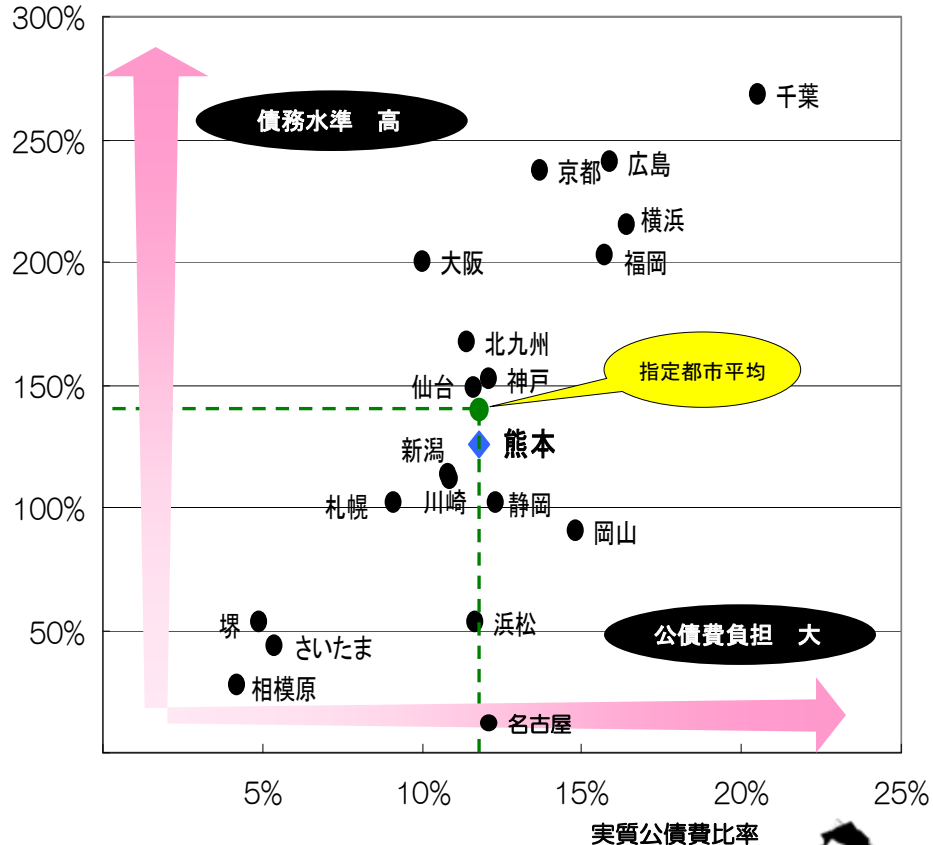


熊本市 指定都市平均

指定都市平均
より良好な水準

(20市中、実質公債費比率11番目
将来負担比率10番目)

将来負担比率

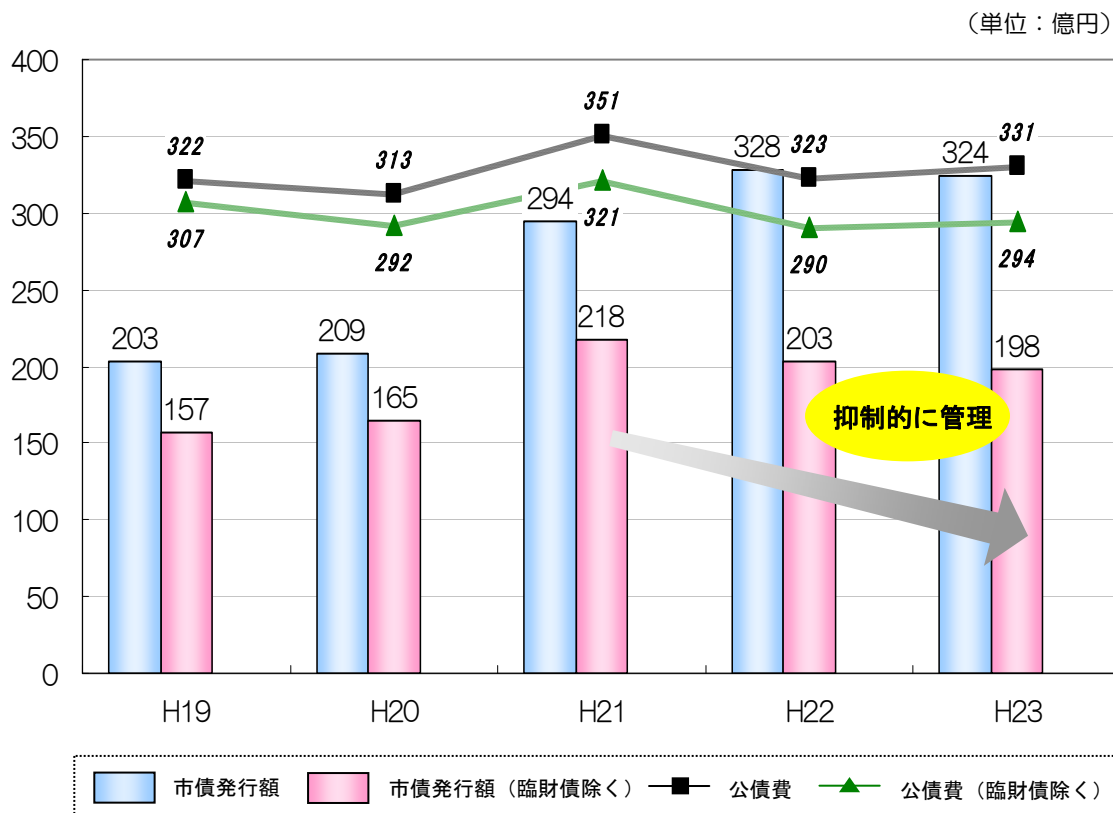


Ⅲ. 熊本市の財政状況

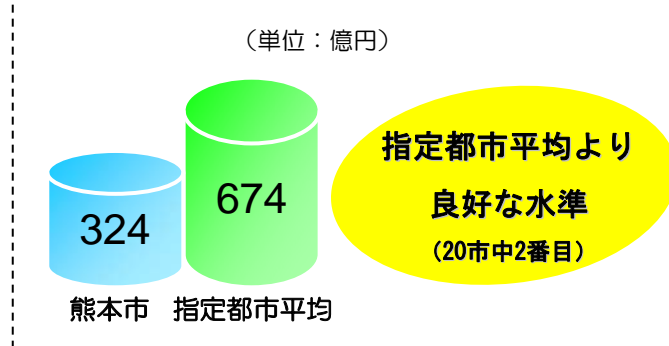
■ 市債発行額・公債費の状況(普通会計)

- ◆ 市債発行額は抑制的に管理(臨時財政対策債増加影響を除く)
- ◆ 公債費は臨時財政対策債を除いた発行額を下回ることなく推移
- ◆ 指定都市と比較においても、良好な水準

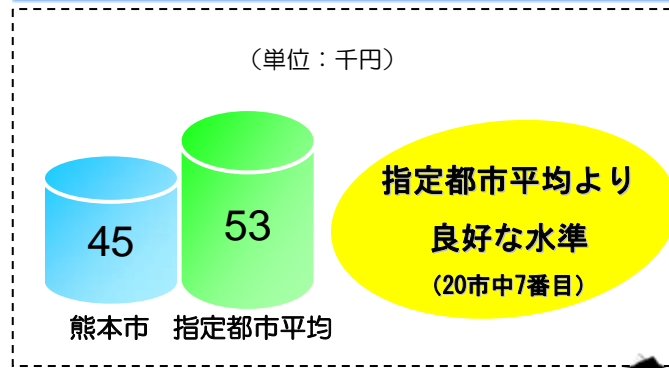
市債発行額及び公債費の推移



市債発行額(H23決算)



市民1人あたりの市債発行額(H23決算)

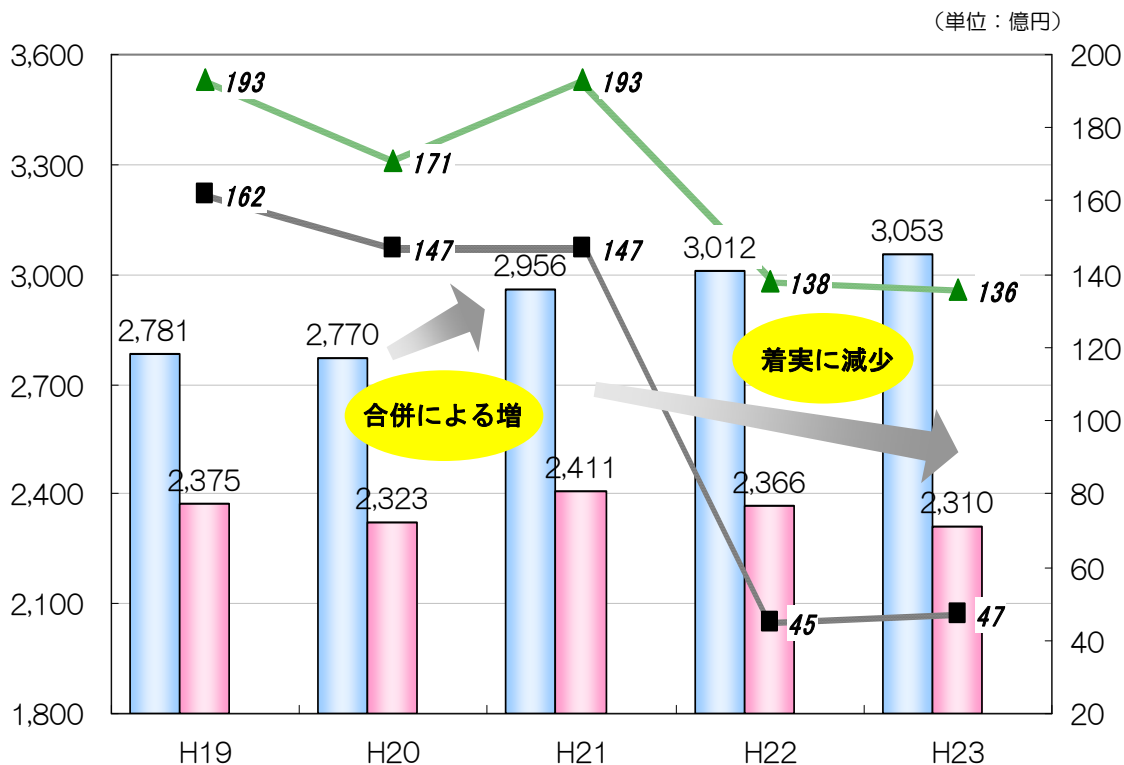


Ⅲ. 熊本市の財政状況

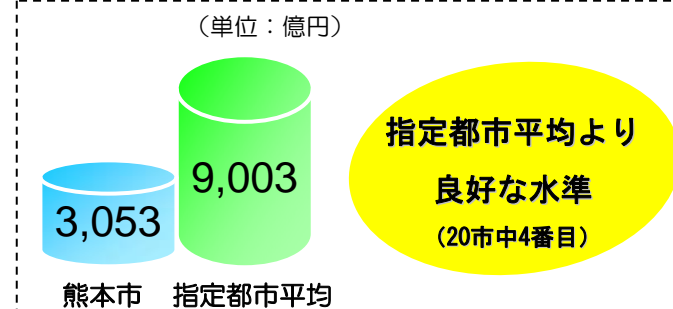
■ 市債残高・プライマリーバランスの状況(普通会計)

- ◆ 市債残高は、臨時財政対策債を除くと、着実に減少(平成21年度は合併影響により増加)
- ◆ プライマリーバランスについても、14年連続で黒字を継続
- ◆ 指定都市と比較においても良好な水準

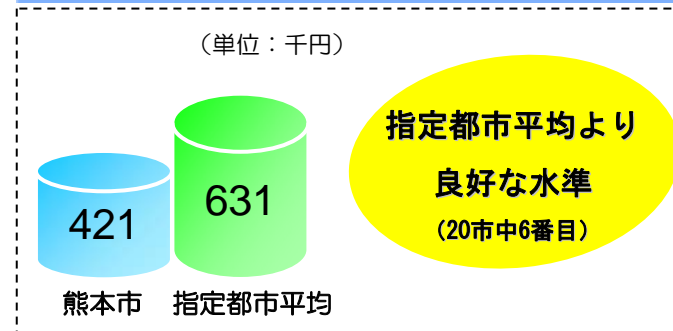
市債残高及びプライマリーバランスの推移



市債残高(H23決算)



市民1人あたりの市債残高(H23決算)



プライマリーバランス(PB)は、市債を除いた歳入と公債費を除いた歳出との差引額 (歳入総額 - 市債) - (歳出総額 - 公債費)

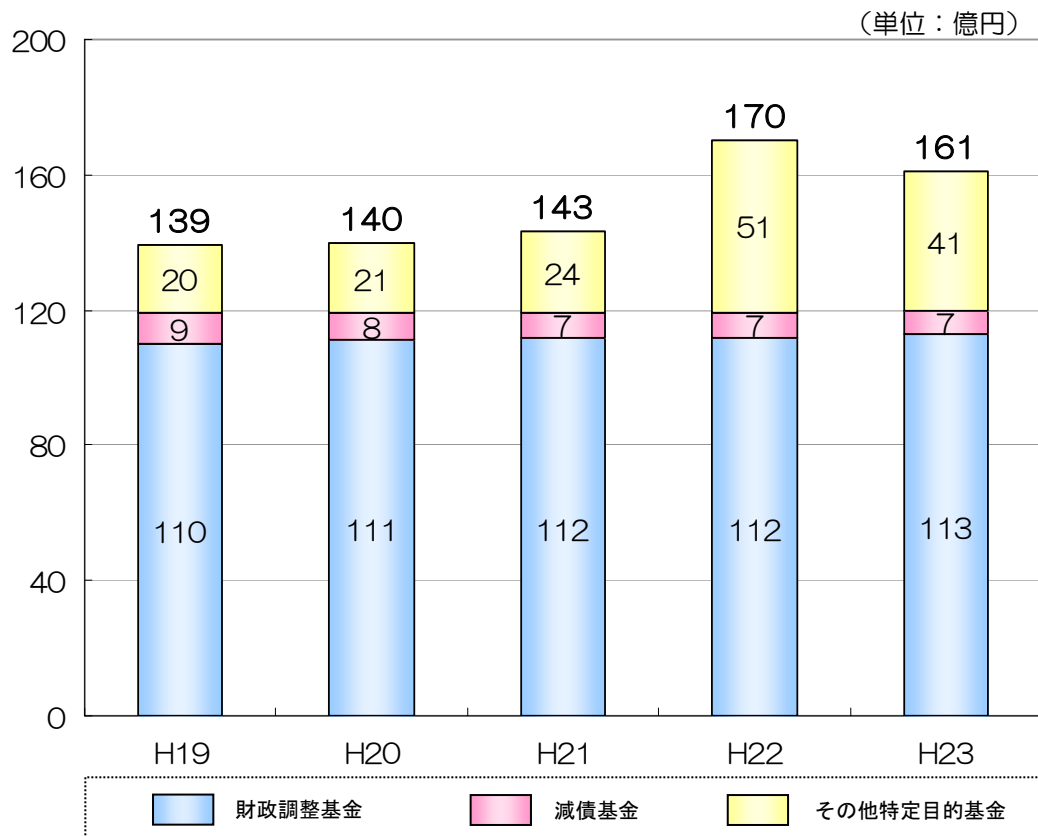


Ⅲ. 熊本市の財政状況

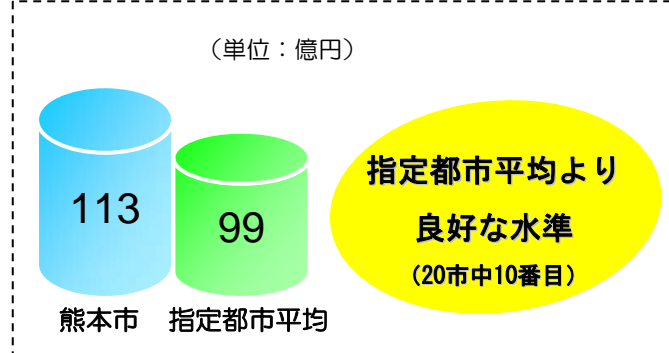
■ 基金の状況

- ◆ 財政調整基金残高は、継続して110億円台を維持
- ◆ 市民1人あたりの財政調整基金残高は、指定都市の中で上位に位置

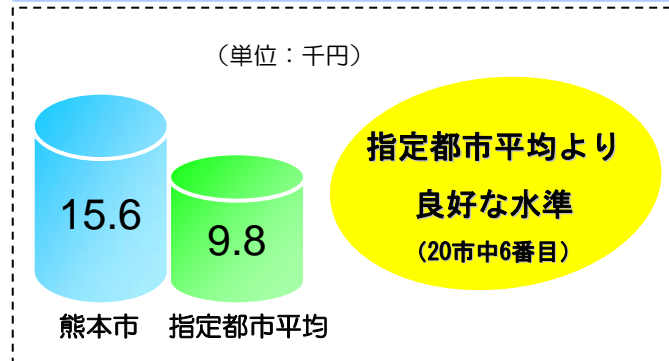
各基金の年度末残高の推移（普通会計）



財政調整基金残高（H23決算）



市民1人あたりの財政調整基金残高（H23決算）



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 特別会計の状況（平成23年度決算）

- ◆ 国民健康保険会計の累積赤字は53億円となり、前年度から20億円の収支改善
- ◆ 健全化計画の取組みにより、更なる累積赤字の解消を目指す

（単位：億円）

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	形式収支 (A) - (B) = (C)	翌年度へ繰越 すべき財源 (D)	実質収支 (C) - (D)	備考
国民健康保険会計	812	865	▲ 53	0	▲ 53	健全化計画実施
介護保険会計	463	451	12	0	12	10億円を超える黒字
競輪事業会計	211	208	3	0	3	一般会計へ2億円繰出
その他の会計	253	247	6	1	5	その他12会計（赤字なし）
合 計	1,739	1,771	▲ 32	1	▲ 33	

国民健康保険会計健全化計画の取組み

（単位：億円）

【目標】 H26までに累積赤字を10億円に圧縮

【計画期間】 平成17～26年度

【具体的な実施項目】

- 医療費適正化
- 保険料の改定
- 収納率の向上
- 一般会計からの支援

	実績（決算）				計画		
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
歳入	665	741	776	812	834	852	881
歳出（繰上充用除く）	666	743	767	792	817	841	866
単年度収支	▲ 1	▲ 2	9	20	17	11	15
累積収支	▲ 80	▲ 82	▲ 73	▲ 53	▲ 36	▲ 25	▲ 10
保険料収納率	85.3%	85.8%	87.1%	87.0%	88.0%	88.5%	89.0%

累積赤字を圧縮



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 公営企業会計の状況（平成23年度決算）

- ◆ 全会計において、収益的収支は黒字
- ◆ 交通事業会計は、経営健全化計画の取組みにより、資金不足の解消に努める

（単位：億円）

会計名	平成23年度決算（収益的収支）			資金剰余（不足）額			資金不足比率		
	総収益	総費用	純利益	H21	H22	H23	H21	H22	H23
病院事業	142	141	1	10	10	9	—	—	—
水道事業	128	107	21	75	99	110	—	—	—
下水道事業	163	154	9	73	75	91	—	—	—
交通事業	40	33	7	▲ 49	▲ 42	▲ 35	202.1%	176.0%	153.5%
合計	473	435	38	109	142	175			

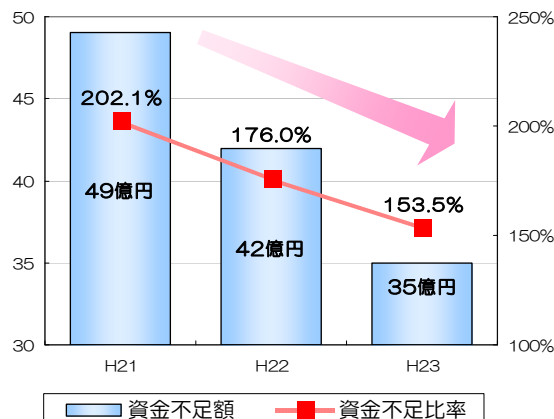
交通事業会計の経営健全化計画の取組み

【計画期間】平成21～27年度

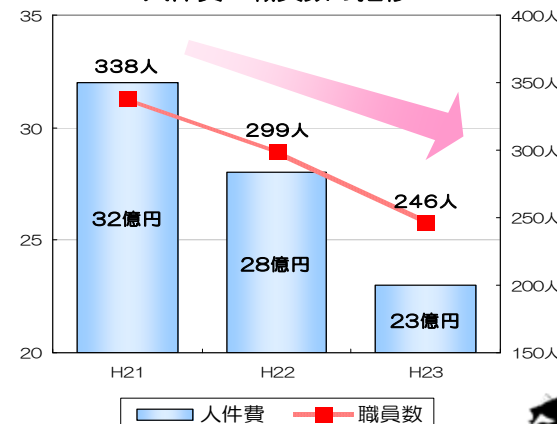
【具体的な実施項目】

- バス事業全面廃止（民間移譲）
- 職員数の削減（238人削減）
（H21 338人 → H28 100人体制）
- 職員給与の削減（5%カット）
- 資産の有効活用（用地売却等）

資金不足額・比率の推移



人件費・職員数の推移



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 外郭団体の状況（平成23年度決算）

- ◆ 土地開発公社の解散（平成16年度）により、地方三公社は「なし」
- ◆ 長期借入金及び債務保証等に係る債務残高は「なし」

外郭団体（出資比率50%以上）の決算状況（平成23年度）

（単位：百万円）

団体名	種別	基本財産 （資本金）	本市 出資額	本市 出資割合	H23年度 経常損益	正味財産	長期借入金	債務保証等に係 る債務残高
熊本市学校給食会	公益財団法人	100	100	100%	1	103	0	0
熊本市下水道技術センター	公益財団法人	50	50	100%	1	71	0	0
熊本市国際交流振興事業団	一般財団法人	180	180	100%	6	215	0	0
熊本市勤労者福祉センター	一般財団法人	32	32	100%	15	125	0	0
熊本市駐車場公社	財団法人	50	50	100%	7	118	0	0
熊本市美術文化振興財団	財団法人	100	100	100%	12	216	0	0
熊本市水道サービス公社	財団法人	30	30	100%	3	97	0	0
熊本市社会福祉事業団	社会福祉法人	3	3	100%	129	875	0	0

外郭団体経営改革計画の取組み

【計画期間】平成16～25年度

【具体的な実施項目】

- 熊本市土地開発公社等4団体の解散
- 市の関与の見直し
（補助金削減・派遣職員の引き上げ）
- 公益法人への移行

主な取組み

- ・ 熊本市土地開発公社の解散（平成16年度）
- ・ （株）サンシティの解散（平成16年度）
- ・ 福祉公社の解散（平成17年度）
- ・ （財）熊本市住宅協会の解散（平成23年度）
- ・ 職員の派遣を26名減（引き上げ）（平成18年度より実施中）



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 財政の中期見通し

- ◆ 計画的な財政運営により、収支は安定的に黒字を維持
- ◆ 各財政指標は、国県道整備事業等の実施により、上昇傾向となる見通し（実質公債費比率を除く）

（単位：億円、％）

歳入	H24	H25	伸率		H26	伸率		H27	伸率		H28	伸率	
市税	934	945	1.3		953	0.8		945	▲ 0.8		952	0.7	
実質的な地方交付税	603	607	0.6		613	1.0		617	0.7		626	1.3	
国県支出金	642	669	4.1		687	2.8		735	6.9		694	▲ 5.5	
市債（臨財債除く）	229	289	26.5		278	▲ 3.9		298	7.3		218	▲ 26.7	
その他収入	351	339	▲ 3.3		330	▲ 2.6		344	4.4		330	▲ 4.3	
合計 A	2,759	2,849	3.3		2,861	0.4		2,939	2.8		2,820	▲ 4.1	
歳出	H24	H25	伸率		H26	伸率		H27	伸率		H28	伸率	
義務的経費	1,565	1,587	1.4		1,614	1.7		1,644	1.9		1,676	1.9	
人件費	464	470	1.2		472	0.4		482	2.1		475	▲ 1.5	
扶助費	771	788	2.3		807	2.3		825	2.3		845	2.3	
公債費	330	329	▲ 0.3		335	1.8		337	0.6		356	5.8	
投資的経費	400	485	21.2		465	▲ 4.1		535	15.1		395	▲ 26.2	
その他経費	793	773	▲ 2.4		762	▲ 1.5		752	▲ 1.3		735	▲ 2.3	
合計 B	2,758	2,845	3.2		2,841	▲ 0.2		2,931	3.2		2,806	▲ 4.3	
収支 A-B	1	4			20			8			14		
実質公債費比率	11.4%	11.0%			10.4%			10.1%			10.0%		
将来負担比率	120.7%	124.3%			125.9%			133.8%			133.1%		
経常収支比率	87.8%	87.6%			87.5%			89.0%			89.5%		
市債残高（臨財債除く）	2,232	2,289			2,337			2,409			2,399		

【試算の前提条件】

〔歳入〕

- ・市税は、確定している税制改正の影響を反映（政府が示す経済成長率等は考慮しない）
- ・実質的な地方交付税とは、地方交付税及び臨時財政対策債（地方交付税振替分）の合計
- ・期間中の財政調整基金の取り崩しはなし

〔歳出〕

- ・人件費は、中期定員管理計画に基づく職員数を考慮し、退職手当の所要額を確保
- ・扶助費は、生活保護費、保育所運営費等項目別に過去の実績等を勘案
- ・公債費は、既借入分は償還計画により、新規発行分は理論計算により推計

財政の中期見通しは、毎年度、当初予算を踏まえ見直しを実施



Ⅲ. 熊本市の財政状況

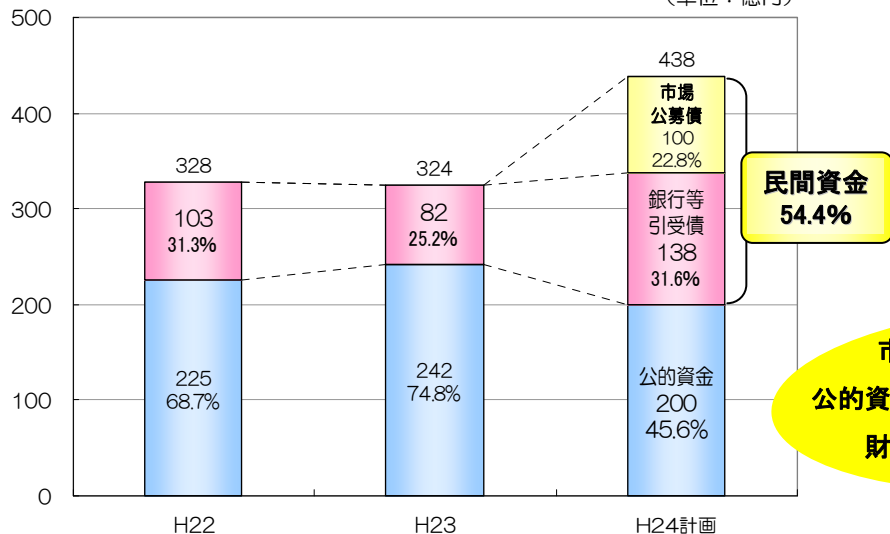
■ 平成24年度起債計画

- ◆ 政令指定都市移行により、市債発行額及び民間資金の割合が大幅に増加
- ◆ 市場公募債の発行により、自立的・安定的な資金調達に取り組む

熊本市平成24年度第1回公募公債の概要

【発行額】	100億円
【償還期間】	10年満期一括償還
【条件決定日】	平成24年11月7日
【発行日】	平成24年11月30日
【募集期間】	11月7日（水）～ 11月20日（火）

< 市債発行額の借入区分別の構成比（普通会計） > (単位：億円)



市場公募債発行を機に、
公的資金から民間資金へシフトし、
財政運営の自立性を高める

<平成24年度熊本市市場公募地方債 引受シンジケート団>

銀行団	肥後銀行
	みずほコーポレート銀行
	みずほ銀行
	熊本第一信用金庫
	熊本ファミリー銀行
	熊本信用金庫
	熊本中央信用金庫
	新生銀行
	三井住友銀行
	三菱東京UFJ銀行
証券団	みずほ証券
	野村證券
	SMBC日興証券
	大和証券
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	岡三証券
	東海東京証券
	みずほインベスターズ証券
	SMBCフレンド証券
	しんきん証券



【お問い合わせ先】

熊本市財政局財政課



ひごまる

〒860-8601

熊本市中央区手取本町1番1号

電話： 096-328-2085

FAX： 096-324-1713

E-mail: zaisei@city.kumamoto.lg.jp

<熊本市ホームページ> <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp>

[トップ](#)  [行政情報](#)  [財政・行政改革・情報公開・監査](#)  [熊本市の財政情報](#)

